

津波を想定した避難訓練を実施

防災 地域で支え合う災害に強い まちづくりを目指して

■問合せ先Ⅱ地域安全課消防防災係
(☎22・3101)

新発田市総合防災訓練は、防災機関や関係団体との協力体制を強めるとともに、地域の自主防災意識を高め、住民同士の連携を深めることを目的に毎年実施しています。

近年、太平洋沿岸地域では津波による大規模な被害が発生していることから、今年度は、佐渡北方沖を震源とする地震による津波を想定した避難訓練をします。

訓練の開始時刻は子ども



▼住民避難広報訓練（場所

内容

ときⅡ10月24日(☉)午後2時
〜4時45分(予定)
ところⅡ藤塚小学校校体育館・グラウンド

は、藤塚浜地区)

▼住民避難訓練（対象は、藤塚小学校児童や藤塚浜地域住民など）

▼防災関係機関・団体による訓練（消防防災ヘリコプターによる搬送訓練など）

▼展示・体験コーナー

起震車による地震体験や水消火器を使用した初期消火体験、AED講習など

その他Ⅱ訓練当日、会場周

辺では緊急車両がサイレンを鳴らして走行するほか、防災ヘリコプターが上空を旋回し、避難広報を行います。火災や災害と間違わないようご注意ください。また、会場周辺の道路を一部

交通規制する場合があります。ご理解・ご協力をお願いします



新庁舎建設設計素案

新庁舎 有識者と市民が 使いやすい庁舎を検討

■問合せ先Ⅱ新庁舎建設室（☎22・3101）

8月に「新庁舎建設基本設計素案」について、検討が行われました。今後も、市民の皆さんのご意見を踏まえながら、基本設計を進めていきます。

討する予定です。

【市民ラウンドテーブル】

今回は、約20人の参加者が設計素案を検討しました。「1階に分かりやすい総合案内窓口を設けるとともに、利用者が各課を回るのはなく、一つの窓口で用事が済ませられるように工夫してほしい」「中心市街地の活性化に繋がる仕掛けがほしい」などの意見が出されました。また、市民に開放される場所については、「もう少し気軽に立ち寄れるスペースがほしい」「広場の使い方・運営方法などを検討すべき」などの意見が出されました。

今回使用した設計素案や出された意見は、札の辻ラウンジ（地域交流センターあおり館1階）に掲示してあるほか、市ホームページからご覧いただけます。

【デザインシャレット】

有識者や各分野の代表者で構成された委員が、各フロアのレイアウト・利用方法を検討しました。委員からは「市民と職員の双方にとって、使いやすい庁舎にしてほしい」などの意見が出されました。今後は、基本設計の修正案について検

